



College for International Co-operation and Development

April & May News letter

今月号特集 : May team 2009 Start ! !

CICD関連記事

- 2 ガイアを終えて、今 DI に - By Hana Choi
- 3 初めてのアクション・ウィーク -By 原野玲子
- 4 DMM学習～9つの理念～ - By CJ

アフリカ/インド関連記事

- 6 Greeting from TCE Baddi, インド -By 相原進一
- 9 南アフリカのTCE -Pavel Redkin

ガイアを終えて、今 DI に

○ガイアプログラムで学んだこと

私は2ヶ月間ガイアプログラムに参加し、それは確かに簡単に過ごすことのできない時間でもありました。私は忍耐と責任を学びました。私が思うところ、私自身はとても責任感があり、忍耐強い人間であると思います。しかし、ガイアでは、それ以上のことを学んだと思います。

私は期間中の Residential School（寄宿学校）で、コミュニティでの水の改善、フェア・トレード・バナナと熱帯雨林についてプレゼンテーションを行いました。以前の私はこれらについて本当に何も知りませんでしたが、今では私は世界には多くの不公平があることを知っています。そして、その逆があることも。

もしも人々が世界を変えるために力を合わせれば、人々は世界を変えることができます。世界には、特に第3世界には、多くの貧しい人々があります。多くの人々は、それをすでに知っています。しかし、少ない人々だけがそれに応えるだけです。私たちには、不公平なことを変える少しの力があります。

また、同時にこれらのプレゼンテーションを行うことで、私はそのスキルを学びました。自分でプレゼンテーションを行い、発表するためには、私は発表する内容について理解をしなければなりません。これは、最高の勉強方法でした。



私はどのように自分と違う人々と、「良い関係」を築くことができるのかについて学んでいます。これはとてもタフなことで、簡単ではありません。しかし、私は、自分が1人で世界で生きていくことができないことを知っています。私たちはお互いを許して、耐えなければなりません。私たちはただお互いに違うだけで、そこには何も間違っているものはありません！

最初にも述べたように、ガイアプログラムはとてもタフなプログラムです。時々、私は心良くない人にも出会い、犬は私を追いかけてきました。イギリスの天候はいつも変わるので、そのせいか私の気分を害することもありました。イギリスの天候は、1日で4つの季節を体験できるほどです。時と場合によっては、人々は私を罵ります。私は「なぜ私はここに居るの？」と、朝起きた時に聞いていました。

しかし、私はこれらの経験を通じて自分自身がより強くなっていったと思います。私は2月の末から CICD に居て、今では3ヶ月が過ぎました。CICD という、とてもたくさんの人々と一緒に生活するという事は、そう簡単ではありません。しかし、私はより多くのものを学んでいます。私は、自分の夢に近づいてきています。私はそれが嬉しいのです。

○モーニング・スポットー良い1日のはじまり

そのような私のガイア生活も終了し、現在は 2009 年 5 月チームの Development Instructor (通称 DI。プログラムに参加した学生のこと) として新しい生活が始まりました。

DI になると、毎朝、8 時 15 分から始まるモーニング・スポット (朝会) に出席します。ここでは、私たちがアフリカでの生活のために何を準備しなければならないのか、私たちの生活はどのように異なるかなど、その他にもたくさんのテーマが取り扱われます。

例えば、数週間前にはチーム全員が各グループごとに別れて、アフリカ各国についてのプレゼンテーションを作りました。私たちはこの時間で多くのことを学び、そして、アフリカでの生活と私たちがどのような人々と出会うのかについて想像することができました。

特に本当に素晴らしいことは、他の人々たちの経験の物語を聞くことです。私はアフリカから戻ってきたばかりの DI たちから、アフリカについて多くの本当のことを学びました。彼らは彼らのアフリカでの生活、彼らが何を成し遂げたのか、どのような時間だったのかについてプレゼンテーションとしてまとめ、私たちに発表してくれました。彼らのプレゼンテーションを聞いている間、私は彼らが勇気、モチベーションと確信を与えたように感じました。もちろん、これらは私の想像や期待とは同じでないかもしれませんが、それでも、私はアフリカに行ける 때가早く来ることを願います。

2008 年 5 月チーム Hanna Choi

初!! Action Week!!

私たちボランティアは、事前研修の一環として「アクション・ウィーク」があります。このアクション・ウィークでは、私たちはアフリカで使用することができる様々な実践的スキルを学びます。例えば、どのようにしてロープ・ポンプを作るのか、パンの作り方やコンポスト (堆肥) の方法、侵食を防ぐ方法など、その内容は実に様々なものです。



私は先週に初めてアクション・ウィークを迎え、そこで侵食防止システムについて学びました。私はチームメイトと一緒に、私たちがどのようにして収穫物を侵食から守ることができるのかについて知り、実際にその活動を行いました。私たちは、雨と洪水から農作物を保つ効果的な方法を理解することができました。

それに加えて、私たちは他の人々とそれぞれのプレゼンテーションを通していくつかのスキルを共有することができました。英語を学びそれで表現することは、私にとっては簡単なことではありませんでした。しかし、私はチームメイトと協力する間に実践的スキルを学ぶことは、とても重要なことだと思っています。

2009 年 5 月チーム 原野玲子



DMM という学習方法について

時間は本当にとっても速く過ぎました。私のチームは丁度ガイアプログラムを終え、今では Development Instructor プログラム 5 月チームの一員です。DI (Development Instructor。開発インストラクター。プログラムに参加した学生のこと。) がガイアプログラムの時と異なる点は、何といても学習に費やされる時間です。

CICD の学生指導と学習は、とても独特なものです。この特別な教育形態は、デンマークの私立学校、子どもや青年、大人のためのケア・ホームの創始者によって案出された、9 つの教育理念に基づきます。

9 つの教育理念：

1. 試みと探検することで、新しい考えを得る。そして、更により良い考えを形成するために、探究心をもつ。
2. 学びたいと思うものに近くあり、そこから多くのことを学ぶ。
3. 多くを学ぶためにも学友と共にあり、仕事の推進力になる。人生においては、それがとても重要である。
4. 一度でも歩み寄れば、ますますそれがたくなる。深くなるほど質問におぼれ、もっと知りたくなる。そこには多くの仕事があるが、それを乗り越えた時、実のある人間となる。

5. 学校には全てを学ぶ時間がない。氷山のように、あなたが知りたいことを知ることができるのは、10 分の 1 だけであり、残りは後に訪れる。

6. アダムは最初は世界で 1 人だけであったが、私たち残りの全ては一緒にここにある。

7. 学ぶものは使えるものでなければならない。それが可能な時、他の人があなたから学ぶであろう。それ以後は出来事として起こり、あなたが持っているものは他にそれを教えるときに 2 度学ぶことになる。

8. あなたは行動し、そして多くのものに遭遇する。さもなければ、ものごとは止まる。例えあなたの目があなた以外のものを見ていたとしても、1 つの場所から遠くのものを見ることはできない。

9. これらの事柄は先生にもあてはまる。

これらの原則と関連して、他の DRH スクールと CICD は、学生自身が主体となって学べる学習システムを開発しました。先生が毎回、教室の前で授業をとる通常の学習形態とは異なり、CICD の学生は、DMM と呼ばれるコンピューターのデータ・ベースを利用して学習することによって、彼らの知識を向上させます。

私たちは、アフリカ/インド派遣前に 500 点の Study Point をとることが要求されています。(総合的には 850 点必要。)



私は個人的に、これは面白くて挑戦的な学習システムだと思います。このシステムは、学生が井戸を持っている、そのような方法で設計されます。私たち DI はこのシステムを利用することで、巨大な社会的関連事項（例えばエイズ、貧困、アフリカと世界の歴史やその他の非常に面白い主題）を、個人のレベルにあわせて学んでいきます。

課題の中には、例えば学生が健康、グローバル経済、環境問題、文化の重要な問題に関してプレゼンテーションをしなければならない課題も用意されていたり、自転車の修理や薪節減型ストーブ、ロープポンプ、トイレの建設、そして、コンポスト（堆肥）を行うなどの実用的なスキルに関する課題も用意されています。また、特別活動や上映会、夕方プログラムを通じて人々をまとめ運営していくなど、学生その人個人の指導力、計画と実効性などの能力を試す課題もあります。

DMM は、刺激的な学習方法です。「行動による学習」は、全く新しい定義を与えます。

個人的に私が最も挑戦的であると思う部分は、予定管理です。特に学生が自分たちの学習計画を立てるときにかぎって、手がかりを失うことはとても簡単なことです。学習、Partnership 活動、そして他の学校行事など、私たちにはやらなければならないことが多くあります！私は最初、これらを成し遂げていくことは簡単だと思っていました。私は、実際に自分がこれらをしなければならない状況になったとき、初めてその大変さを実感したのです。今では私はそれらを成し遂げていくことが徐々にできていますが、結局はきちんと予定を立てて勉強し、それに達していくことが大切になります。つまり、規律が必要となるのです。

私たちのチームがアフリカに派遣されるには、まだ時間があります。私たちは、アフリカで待っているより大きい仕事に備えてここで新しいものを学び、一緒に私たちのスキルを改善していくのです。そして、それには DMM が大きな役割を果たしていると言えるでしょう。

2009年5月チーム CJ



DMM データー・ベース



プレゼンテーション・発表。これらも Study ポイントに含まれる。



Action Week、ビルディング・ウィークエンドなど、実用的なスキルを学ぶ特別活動も DMM の課題として用意されている。



TCE プロジェクト ～インドと南アフリカから～



2007 年の末、3,300 万人以上の人々が HIV ウイルスに感染していました。世界のエイズ患者の 70% 以上は、世界人口のわずか 10% を占める南部アフリカの人々です。南部アフリカ諸国では、世界で最も高い HIV 感染率を占め、成人人口の 15～28% が HIV に感染しています。仮に HIV 感染が大部分の国で安定したとしても、HIV に感染している人々は進行中の新しい感染症と ARV 治療を受け続けるために戦い続けなければなりません。(数字と事実については、2008 年の世界的なエイズ流行について述べた UNAIDS レポートを参照しました。)

2008 の UNAIDS 報告によると、より多くの感染症を予防する必要性を強調します：

「世界的な HIV/AIDS 流行は、一変することはできません。そして、拡大している処置アクセスの増加は、新しい HIV 感染率を減らす、より大きな進歩なしでは継続されることができません。」

この投げかけに応答する形として、Humana People to People の Total Control of the Epidemic (TCE) プロジェクトがあります。

TCE は 2000 年にジンバブエで始まった、HIV/AIDS 予防・撲滅運動プロジェクトです。現在はアフリカだけではなく、インド・中国のアジアで活動続ける Humana People to People でも、このプロジェクトが実施されています。

今回は今年の 3 月に派遣された南アフリカで活動中のパベルと、インドで活動中の相原進一さんの活動レポートをお届けします。

Greeting from TCE Baddi, India

私は今、TCE Baddi で活動中です。この町は、インドのヒマチャル・プラデシュ州にあります。亡命中のダライラマとチベット政府は、同じ州にあります。

インドは一言で言い表し、判断を下すのが不可能です。社会、文化、民俗音楽、人種集団、多くの言語、多くの宗教と人々、その他など。そして、富める者と貧しい者の間には、相当なギャップがあります。教育水準は全く異なり、それは、個人または家族によって異なります。この国は、非常に複雑な状況にあります。

Baddi は今、非常に暑いです。今日はちなみに 35°C で、1 ヶ月後には 40°C です。ここに来る前、私はこの場所が少し涼しい場所であると思いました。それは、私の誤解でした。実は 8 年前の場所は、今よりもっとも涼しい場所でもありました。しかし、現在の気候変動のせいで、変わったのでしょ。毎年、温度は上昇を続け、巨大な川は干上がりました。水は雨季の季節に來ます。

Baddi は工業地区であり、3,000 以上の民間会社が工場を建設します。その結果として起こる環境汚染（大気汚染、水質汚染、土壌汚染、浸食、ゴミ汚染など）は、ここの深刻な問題です。2010 年から法人税が自由になり、政府は多くの工場がこの土地に来ることを奨励しています。そのため、多くの工場が現在、工事中です。

私はここで、ベジタリアン（菜食主義者）になりました。いつもはたいてい、みんなはチキンを食べています。しかし、ここの鶏は汚染されていることが多いです。私は 2 度ほど、胃の不調に悩まされました。それから、私は食事の内容を変えることに決めました。たとえば、私はたくさんのチャイ（ミルク茶）を飲むようにしています。ここでは、ミルクは牛から作られておらず、水牛から作られます。バッファロー・ミルクはおいしいですが、私には非常に強いです。そして、牛ミルクは利用することができません。



今週、私はいくつかの場所に行きました。週の前半には、スラムを訪問しました。この場所は、難民キャンプのようです。人々は、1日わずか 5 ルピーで暮らしています。（ルピーをポンドに変えたとき、それはわずか 6 ペンスです。）

5 ルピーで何ができるのでしょうか？ここでは、私たちは 12 ルピーで、小さいサイズのペプシ・コーラーを買うことができます。そして、チャイは 3~5 ルピーです。バナナ 2 個で、5 ルピーです。

私はこの人々がどのようにして、わずか 5 ルピーで生きて行っているのかがわかりません。一部の人々は、肉体労働作業をすることによって生計を立てています。そして、一部の人々は、性的なことを仕事としたり、犯罪をしています。彼らも、家畜を育てることによって、生計を立てています。しかし、彼らは家畜以外の、汚染された水を飲んでいて、ゴミを食べています。私は、テントで長い間、子供たちからシラミとノミを取り除いているある母親に出会いました。実はキャンプでは、衛生と医療施設がよくありません。

私の仕事は TCE ですが、私は毎日、異なるフィールド・オフィサー（現地スタッフ）と一緒に、異なる場所を歩いています。私たちのチームは、全部で 27 人のメンバーから構成されています。フィールド・オフィサーは 20 人で、彼らはとても素敵な人々です。彼らはとても勤労者でもあり、そして高い教育を受けています。たとえば、1 人の人は医学修士の学位を持ち、もう 1 人には医者免許があります。

私は Development Instructor として彼らと共に働き、また、私はスペシャル・フォース（特別部隊）とも呼ばれています。他のチーム・メンバーは、2 つのパトロール・リーダー、3 つのスペシャル・フォース（DI）、スペシャル・フォースのトレーナー（シニア DI）、1 人の Troop 司令官、1 人の副部司令官と 1 人の部門司令官（プロジェクト・リーダー）から構成されています。

私たちの仕事は地元の人々に HIV/AIDS の認識を与え、血液検査キャンプを組織することです。さらに、私たちはストリート・ドラマを製作し、月曜日から金曜日まで毎日一緒に遊ぶ時間も持ち、異なるスポーツもします。そして、私たちは「Passionate」の人々を動員しています。これは、非常に重要な仕事です。「Passionate」とは？それは、熱意と情熱をもって、地元の人々に HIV/AIDS の認識を与える、ボランティアとして働く人々のことです！

TCE プロジェクトは 3 年単位のものであるため、私たちのプロジェクトが去った後も、誰かが地元の人々に継続して HIV/AIDS の認識や活動を与える続ける必要があります。

現在、インドでは TCE プロジェクトが 2 つの場所にあります。1 つの場所はここ Baddi で、もう 1 つは Narera（デリー）にあります。TCE Narera はあと 2 ヶ月で終了し、私が現在、活動している Baddi はあと 1 年で終わります。

私たち TCE プロジェクトは、目標として Baddi で 3,000 人の Passionate の人々を動員しなければなりません。しかし、現在、私たちは 1,300 人未満だけを動員することが可能です。そのため、私たちはより多くの Passionate として活動してくれる人々を必要とします。

したがって、現在の私たちのプロジェクトは「突発的な期間」ともいえます。激務と活動の範囲を拡張していきます。それは、火山噴火のようです。

今この時点における私の生活と仕事は、このようなものです。



2008 年 9 月チーム 相原進一

中間ミーティングを終えて ～南アフリカ・TCE から～

私は開発インストラクター／スペシャル・フォースとして、働き始めました。フィールド・オフィサーを支え、農村の一軒一軒を歩いて HIV/AIDS とその予防方法について伝えていきました。

私は自分の新しい責任、職場とコミュニティから学んで経験し、新しい生活水準と状況を受け入れる必要がありました。私は行動し、アイデアを与え、現地の人々の現在の生活を改善するために、彼らを動員する必要がありました。

私はまた、TCE Main Reef プロジェクトの原則と伝統を学びました。具体的には、Troop と Patrol のミーティング、12 の指針、統計と計算、どのように結果と登録を改善するか、どのように人々を動員して HIV テストをうけてもらうことなどです。

同時に、私は新しい友人関係を築いて自分のコミュニケーションと時間を管理する必要がありました。特に南アフリカの文化と生活を学んでそれを実際に経験し、生きるために必要なスキルを習得して私自身の安全に気を配り、この国を愛することがとても重要でした。



パベルと TCE スタッフ



Soweto



○これまで参加した Division と Troop の活動



Soweto での大きなそうじ活動



Leeatong 病院の近くでオープンした医療学校の準備を実行



ボランティアのカウンセリングと、HIV テスト (VCT) の推進



資金調達の仕事のための書類・レター作成



Soweto のコミュニティで多くの地元の人々、子どもたちと触れ合い、新しい友人関係を築く



私は南アフリカの美しさ、観光、文化と伝統を、週末や休暇の旅行で学ぶ

○これまでに学んだことについて

良い経験

1. 地元の人々とのコミュニケーション (彼らの挨拶、関心、魅力的な微笑、理解と親切など)。これは私により多くのエネルギーをつくり、私を「再充電」させてくれます。その結果、私自身により良い仕事を創作する力を与えてくれます。
2. プロジェクトと現在の問題で状況を理解すること。常に柔軟性をもつこと。この能力があれば、どのように状況を利用するべきか、より良い結果を成し遂げるべきかについての新しい見解を作り、提案するのを助けます。

良くなかった経験

1. 同僚、組織の不足、責任、規律との意見の相違など。しかしながらこれは、生活と管理の間違った側を理解する良いきっかけでもあり、どのように状況を改善・向上させるべきかについて考えさせてくれました。

2. 個人的な問題：安定でないこと、健康問題など。私は安全であることについて学びました。また、自分の健康についてもしっかりと管理し、些細なことでも十分に注意して変化を見逃さないことを心がけています。

残りの期間で成し遂げたいこと

私は自分が気づいたこと、例えば何かしらの問題の解決のための手助けをしたり、状況を改善・向上することができるのであれば、私はそれで満足です。

私のチームはより良い結果を成し遂げ、良いチームとして働き始めました。同僚とのコミュニケーションと協力がよくなってきました。人々は、私からより多くの知識と技術を受け取りました。

私の足跡は、おそらく生産と材料になるだろうと思います。私は未来のDIとボランティアたちのために、映画、プレゼンテーション、写真、レポート、小冊子、レッスンなど全てのものを残していくつもりです。

目標を成し遂げるために必要な前提条件

- ・聞くこと
- ・聴力
- ・理解すること
- ・反応すること
- ・状況を利用すること
- ・忍耐と勤勉であること

事後研修で行うこと

私は自分の仕事とTCEプロジェクトで成し遂げたことについて伝え、それにより私の経験とスキルを新しいDIと共有できたらと思っています。

また、TCEプロジェクトやHumana People to Peopleで活動するための未来のボランティアたちを集う、広報活動も行っていくつもりです。

私は自分の経験を映画、プレゼンテーション、小冊子にまとめ、これらを新しいボランティアたちに役立つようにしていく考えを持っています。

2008年9月チーム Pavel Redkin

**College for International Co-operation and Development
(CICD)**

**@ Winstead Hall, Patrington
Hull, HU12 0NP
England**

Email: cicd05@yahoo.co.jp

Contact Details:

Tel: +44 (0)7813 854 298

+44 (0)1964 631 826

Fax: +44 (0)1964 631 695

Websites:

www.cicdvolunteer-japan.org.uk/

<http://volunteermemories.blog94.fc2.com/>

www.humanapeopletopeople.org